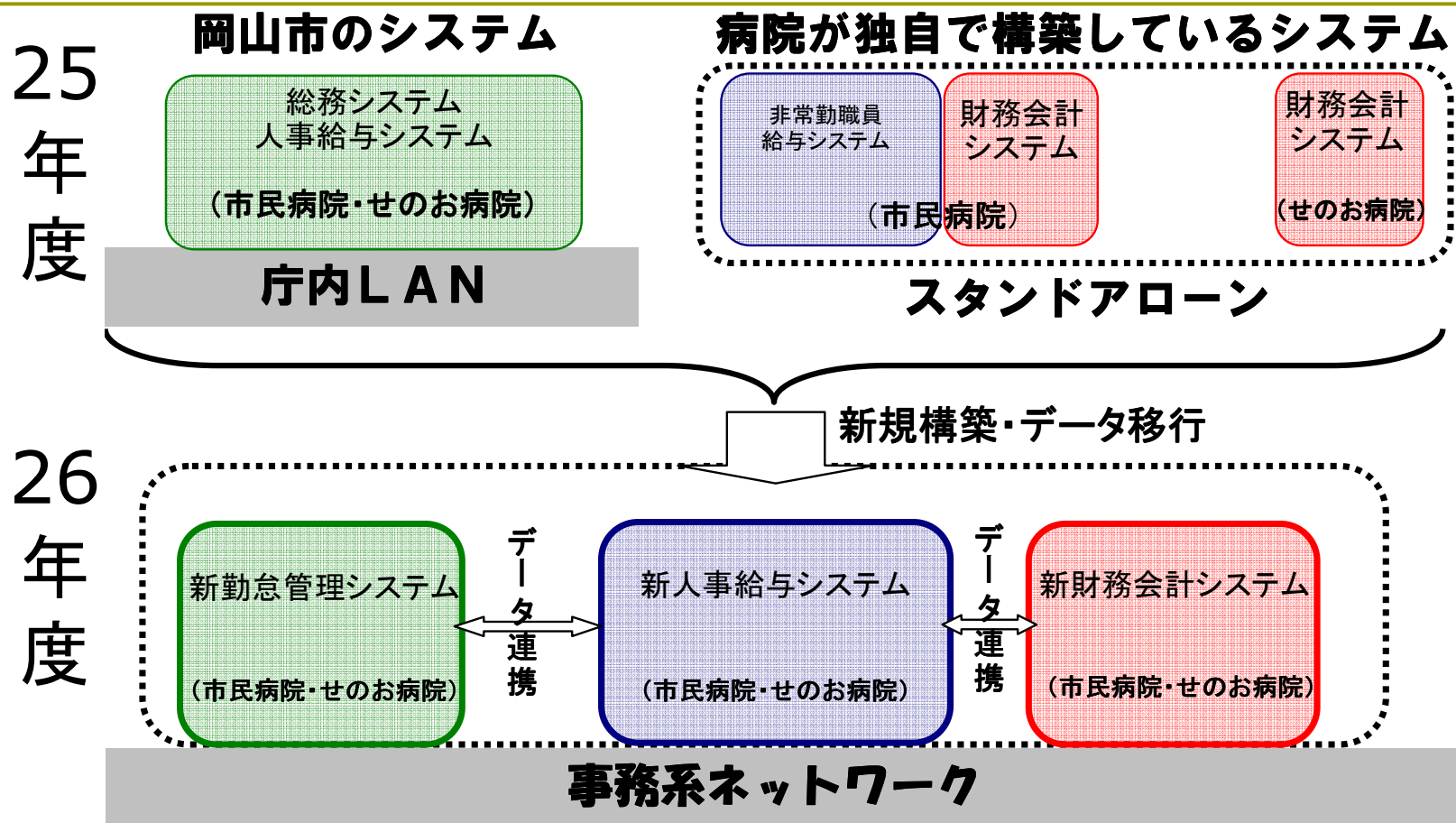


市民病院及びせのお病院の地方独立行政法人化に伴う財務会計システム構築基本方針

事務系システム

人事給与、財務会計、勤怠管理(現・総務)システム



※事務系ネットワーク

⇒人事給与、財務会計、勤怠管理システムについて、
市民病院・せのお病院共通ネットワークインフラを新規構築

独法化前(現状)の財務会計処理

	市民病院	せのお病院
予算管理	<ul style="list-style-type: none">・病院単位で管理・支出伺入力時点での予算残高を表示	
収入処理	<ul style="list-style-type: none">・病院単位で処理・医事会計からの出力データを手入力	
支出処理	<ul style="list-style-type: none">・病院単位で処理・小切手にて金融機関窓口で支払	
決算処理	<ul style="list-style-type: none">・病院単位で処理	
財務諸表作成	<ul style="list-style-type: none">・自院分と2病院合算分を作成 (他院決算値はCSVデータを媒体にて取込)	<ul style="list-style-type: none">・自院分のみ作成
資産管理	<ul style="list-style-type: none">・病院単位で管理・財務会計システムと連動していない	

独法化後の財務会計処理

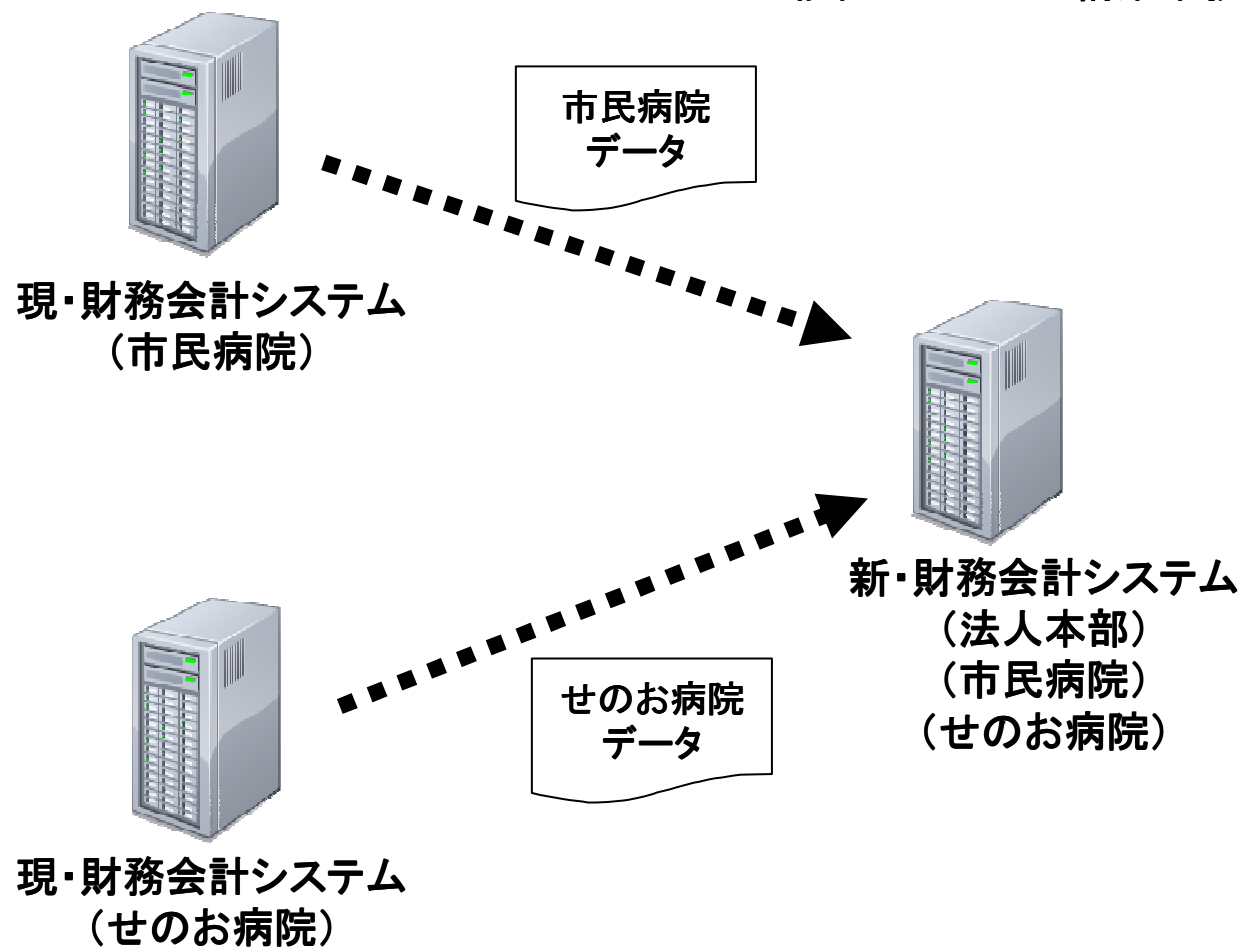
	法人本部	市民病院	せのお病院
予算管理	・法人全体を管理	・病院単位で管理	
	<ul style="list-style-type: none"> ・契約締結伺入力時点での予算残高を表示 ・支出伺入力時点での予算残高を表示 		
収入処理	—	<ul style="list-style-type: none"> ・病院単位で処理 ・医事会計からデータを媒体等で取込 	
支出処理	<ul style="list-style-type: none"> ・2病院の支出伺を承認 ・ファームバンキングで支払 	← オンラインデータ	・病院単位で支出伺を作成
決算処理	・2病院の決算処理	← オンラインデータ	・病院単位で決算整理
財務諸表作成	・法人合計分及び各病院分を作成	—	—
資産管理	・法人全体を管理	・病院単位で管理	

新財務会計システム

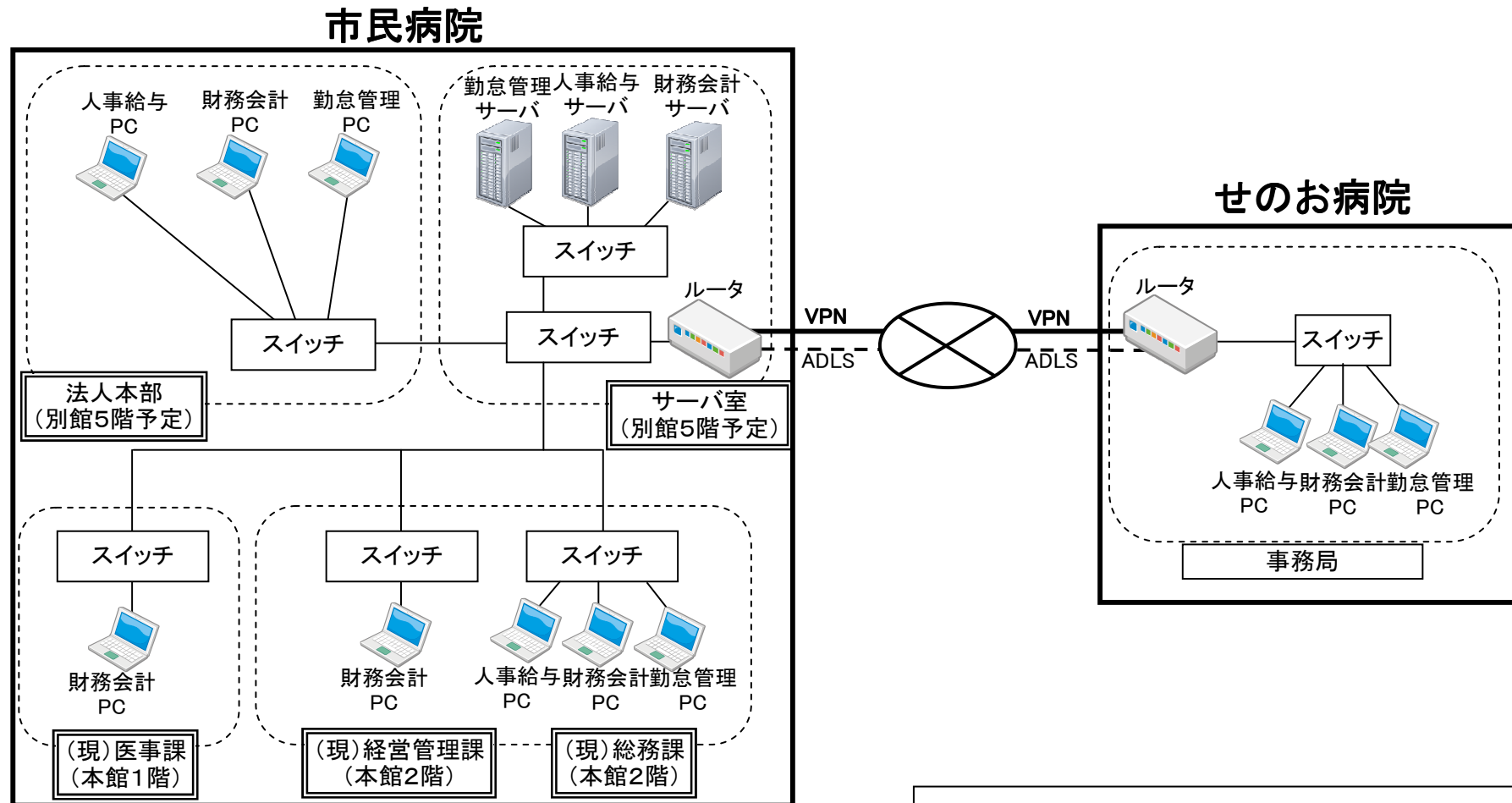
- ◆地方独立行政法人会計基準に準じた会計処理ができる財務会計システムである。
- ◆現行病院単位で処理している支払処理、決算処理等を法人本部で一元管理する。
- ◆支払をシステム化(ファームバンキング)し、新財務会計システムと連携させる。
- ◆給与関連支払情報について、別途調達する新人事給与システムと連携させる。

現システムから新システムへのデータ移行

※データ移行はシステム構築業務に含まれる。



独法化後ネットワークインフラ案(別調達)

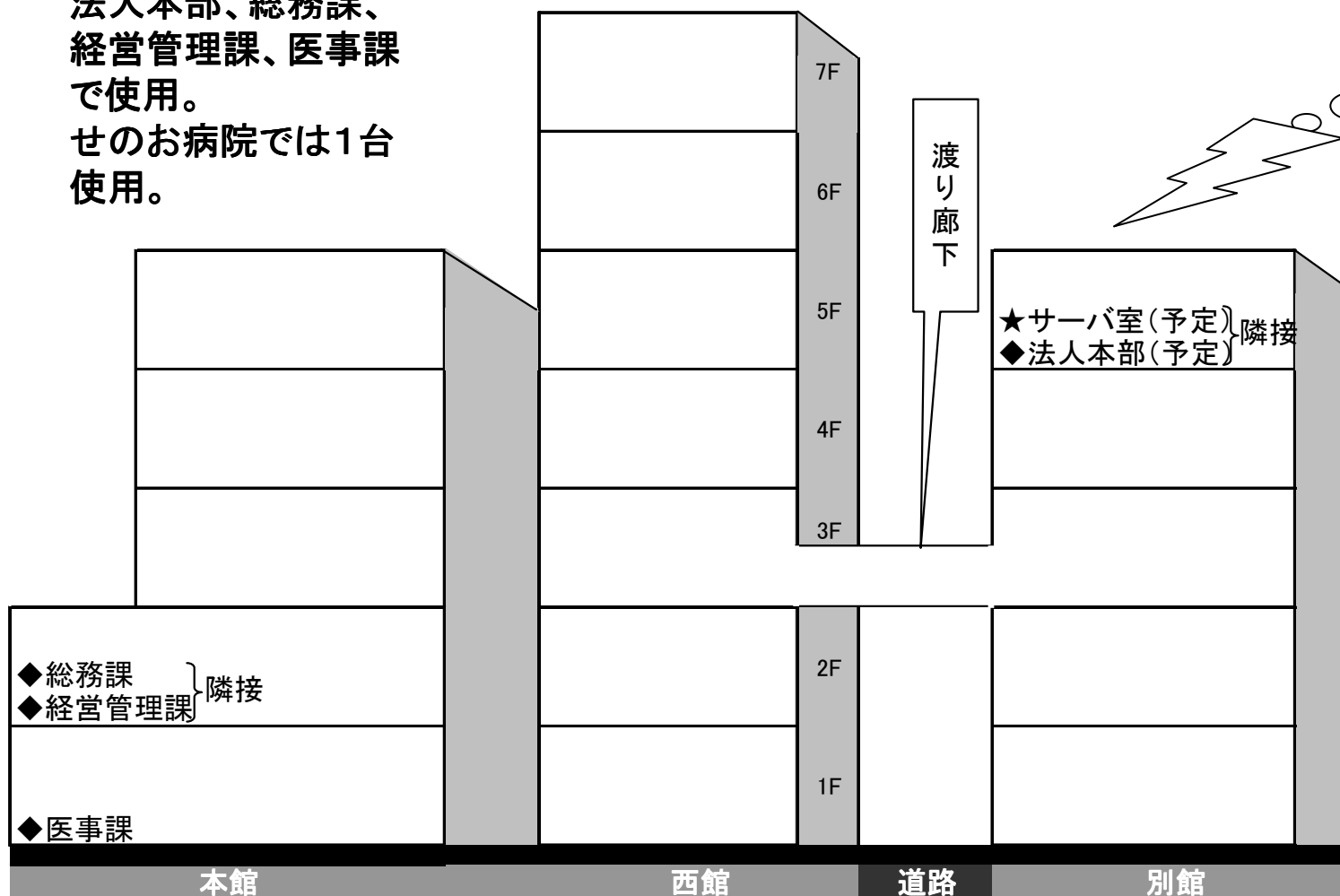


事務系ネットワーク概要図

執務室・サーバ室位置(現市民病院)

財務会計システムは法人本部、総務課、経営管理課、医事課で使用。
せのお病院では1台使用。

《現市民病院》



せのお
病院へ

新病院への移転

◆ネットワークのアドレス体系変更

◆DHCPに移行(初期構築では固定IPアドレスの予定)

◆サーバの仮想化への対応

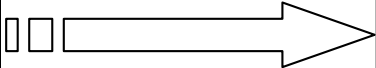
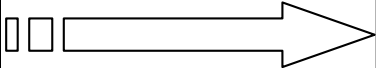
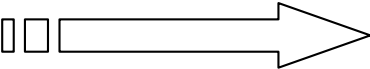
⇒決定事項ではないが、新病院のネットワークインフラ検討時に各システムのサーバ仮想化についても検討していく。

◆クライアントの相乗りへの対応

⇒新病院移転後は人事給与システムの端末にポータル画面を作成し、他システムへのリンク又はSSOを検討する。

ネットワークインフラへの対応

【ネットワークインフラ構築スケジュール】

	25年度	26年度
事務系ネットワーク構築		
新病院のネットワーク(法人LAN)構築準備 (仕様書、配管図等作成)		
新病院のネットワーク(法人LAN)構築		

※法人LAN……医療系、情報系、事務系の統合ネットワーク

- ◆事務系ネットワークに乗せる際に本市と打合せ
- ◆法人LAN構築準備の際に移行方法等について本市と打合せ
- ◆法人LANへの移行の際に法人と打合せ